

公益社団法人 日本青年会議所 北陸信越地区 富山ブロック協議会

財政局

財政局長 棚田 遼太郎

<p>設 置 背 景</p>	<p>持続可能な組織を運営するためには、事業の公益性と会計の透明性を確保することが求められています。また社会が高度なコンプライアンスを要求するようになり、ガバナンスを強化することが求められています。富山ブロック協議会の展開する事業が社会により良いインパクトを与えるために、厳正な審査を行うことで、コンプライアンスを基にした会計の透明性と財政体質の健全化により改善を促す必要があります。</p>
<p>設 置 目 的</p>	<p>青年会議所運動の効果を財政とコンプライアンスの観点から適正なものにすることを目的とします。</p>
<p>運 動 計 画 (K P I も 記 載)</p>	<p>1. 財政審査会議にて、各種事業の予算及び決算審査をします。 (K P I : 審査会議を1月に1回実施)</p> <p>2. 財政審査会議にて、コンプライアンスに基づく各種事業の審査をします。 (K P I : コンプライアンス審査を1月に1回実施)</p> <p>3. 富山ブロック協議会としての組織運営における支援をします。 (K P I : 100%支援できる形)</p> <p>4. 富山ブロック協議会会則及び諸規程の見直しをします。 (K P I : 2021年度富山ブロック協議会も整合性が100%保たれる状態)</p>
<p>運 動 手 法</p>	<p>1. 各事業へ適切な会計処理を担保するため、厳正な財政審査会議を行うことで、財務体質の健全化と費用対効果が高まります。</p> <p>2. 各事業のコンプライアンスを担保し、規律を維持するために、コンプライアンス審査を実施することで、JCの社会からの信頼を得ることができます。</p> <p>3. 適切な富山ブロック協議会の実現のために、現在の制度に関する調査、検証をすることで、組織運営に寄与します。</p> <p>4. 組織運営を円滑に行うために、富山ブロック協議会会則及び諸規程の見直しをすることで、矛盾の解消に努めます。</p>
<p>パ ー ト ナ ー</p>	<p>公益財団法人公益法人協会（公益法人として適正であるか管理指導）</p> <p>内閣府（公益法人として適正であるか管理指導）</p> <p>監査法人いろは（外部監査による法人格としての適正性の担保）</p> <p>JCI日本（連携）</p>